

I 研究速報 水稻新品種「ふくまる」に関する研究成果

◆「ふくまる」(品種登録出願中)栽培に適した全量基肥肥料

全量基肥肥料は、基肥の速効性窒素と穂肥の緩効性窒素(被覆尿素)を組み合わせた肥料です。「コシヒカリ」では、速効性窒素と被覆尿素(100日タイプ)を5:5の割合で配合した専用全量基肥肥料(商品名:かんた君)が使われていますが、新品種「ふくまる」専用の全量基肥肥料はまだ開発されていません。そこで、「ふくまる」に適している肥料を検討しました。

早生品種である「ふくまる」は、「コシヒカリ」に比べ成熟期が7~10日早くなります。また、「ふくまる」の安定収量を確保するには、茎数や穂数の確保が重要です。平成25年の試験結果から、収量が高く千粒重の大きい60日タイプや80日タイプが「ふくまる」に適していることが明らかとなりました(表1)。平成26年も同様の試験を実施し、新しい肥料の開発と省力的な施肥体系の確立を進めていきます。

表1 全量基肥肥料の窒素溶出タイプと収量(平成25年)

溶出タイプ	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	収量 (kg/10a)	千粒重 (g)	玄米タンパク質含量 (%)
60日	79.1	18.9	425	633	24.4	6.2
80日	79.4	18.7	423	638	24.4	6.3
100日	76.7	18.4	412	601	24.0	6.2

注) 水戸市, 龍ヶ崎市, つくばみらい市で行った試験の平均値

◆「ふくまる」の移植時期と生育, 収量, 品質

また, 水稻新品種「ふくまる」の移植時期と収穫時期との関係, 高品質多収栽培が可能な栽培時期を明らかにするための試験を行いました。この結果, 収量は, 5月20日, 5月30日, 5月10日の順となりましたが, 5月30日移植では安定収量は得られるものの, 登熟歩合の低下や倒伏による品質低下が懸念されることから, 「ふくまる」の移植適期は, 5月上旬~中旬であることが明らかとなりました(表2)。今後も試験を積み重ねて, より最適な栽培条件を明らかにしていきます。

表2 「ふくまる」の移植時期と生育, 収量, 品質(平成25年)

移植期	出穂期	成熟期	収量 (kg/10a)	千粒重 (g)	登熟歩合 (%)	倒伏程度 (1~5)	玄米タンパク質含量 (%)
5月10日	7月21日	8月29日	750	25.4	94.5	1.0	6.2
5月20日	7月29日	9月4日	793	25.7	92.2	1.3	6.3
5月30日	8月4日	9月13日	780	25.1	85.1	3.0	6.5

注) 試験場所: 農業研究所(水戸市)

農業研究所では, 「ふくまる」のブランド化に向け, 高品質・多収栽培技術を確立するため, 今年も全力で取り組んで参ります。ご期待下さい。

Ⅱ トピックス

1. 農業経営士との意見交換会を開催

2月13日に農業研究所において茨城県農業経営士協会普通作部会の研修会が開催され、6名の農業経営士等の皆さまと農業研究所員との意見交換会を行いました。

農業研究所からは、水稻、麦、大豆関係の試験研究の取組みを説明しました。水稻では、鉄コーティング湛水直播栽培や飼料用米等の栽培について、これまでの試験の取り組み状況と結果を説明し、栽培上の課題等について意見の交換を行いました。また、茨城産最良「コシヒカリ」と全国特Aランクの主要な品種（「ゆめぴりか」、「つや姫」、「森のくまさん」）を試食しながら、おいしい米について情報交換を行いました。さらに、近年増加傾向にあるイネ縞葉枯病について情報を提供しました。

麦・大豆栽培では、改良型アップカッターロータリを使用した耕うん同時畝立て播種機について、意見交換を行いました。また、小麦「さとのそら」の分施肥・後施肥技術や大豆「里のほほえみ」について情報を提供し、意見の交換を行いました。

出席された皆さまからは、「改良型アップカッターロータリを使用した耕うん同時畝立て播種機で栽培を行っており、安定した収量を得ることができた。」、「分施肥や後施肥は、他の麦種でも使える技術か。」、「『里のほほえみ』に期待している。」、「県西の鬼怒川沿いでイネ縞葉枯病の発生がみられ、低収事例を聞いている。苗の委託を受けているので、施用する箱施薬剤は何が良いか教えてほしい。」、「麦畑でのヒメトビウンカの防除法を教えてほしい。」など様々な意見や質問を頂きました。



作物の生育情報はこちらから

農業研究所では、水稻、麦類、大豆、かんしょ、落花生の生育情報をホームページ上で提供しています。

ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>

編集・発行／茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 水戸市上国井町3402
TEL029-239-7211(代) FAX 029-239-7306
水田利用研究室
〒301-0816 龍ヶ崎市大徳町3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667
Mail nouken@agri.pref.ibaraki.jp
URL <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/nourin/noken/>